

## 1 意見交換会の顛末より

- 日 時 令和6年12月18日(水) 15:45～16:55
- 場 所 中野市役所 4階 会議室43
- 出席者 部活動顧問(吹奏楽;南宮中・中野平中・高社中、合唱;南宮中、卓球;4中学校)、外部指導者(吹奏楽1名、卓球2名)、協議会委員(文化部関係委員1名)、事務局

## (1) 吹奏楽部・合唱部グループ

## ①自己紹介、悩み等

- ・現在部員が23人いるので、急に部活動から断ち切りたくない。クラブ化することで吹奏楽離れが起きることが心配。
- ・19人の部員がいるが、吹奏楽への想いはそれぞれで、全員揃うことはほとんどない状況。欠席する生徒の保護者との連絡等も大変である。
- ・今年は、コンクールを目標にしながら、市民音楽祭などにも参加してきた。
- ・市内の2中学校で指導をしているが、先生が練習環境の工夫や楽器別に練習時間を変えるなどして、短時間で効果的な活動ができるようにしている。クラブ化されても、コンクールへの参加を目標にすることは大事。
- ・合唱部でも意識の二分化が見られる。クラブ化された場合、事務の仕事も入るので、複数の指導者・担当者がチームとなって運営する必要がある。曲作りの考え方は指導者によって違うので平日と休日で指導者が変わるのは困難である。
- ・合唱に取り組んでいる大人は多いが、高齢の方が多いため指導となると難しい。また、中学生と一緒に練習するにしても、夕方や夜の活動へ参加できる人は少ない。指導者確保には、それなりの報酬が必要と考える。

## ②地域クラブの枠組み

※中野市で一つのクラブ(吹奏楽クラブ、合唱クラブ)を設立し、中学生中心に活動する方向をめざしたい。(全員が同じ方向でした)

## (吹奏楽)

## ○指導者について

- ・中心となる人が必要。中野市近隣で、やってもよいという人はいそう。
- ・一人の指導者だけでは動けないので、チームとして複数の指導者が必要。
- ・複数の場所で活動することは難しいので、練習拠点が必要。

## ○練習会場

- ・ソソラホールを毎回使用できるなら一番良い。→毎回は難しいだろう。
- ・楽器のこともあるので、拠点校を決めてほしい。休日の校舎の管理はどうすればよいか。→現在、校舎を開放していないので、学校を練習場所にはできない。公民館を利用することはできないかを含めて検討したい。(事務局)
- ・現在でも、休日は保護者の送迎が多いので、他校や公民館になることは問題ないだろう。

### ○クラブの運営

- ・コンクール参加を一つの目標にしたい。吹奏楽の場合、複数の編成で参加可能なので、現在の部員が全員加入しても大丈夫。
- ・学校備品の楽器も多数ある。今後も使用を認めていただきたい。ただし、楽器の管理、メンテナンスについては、保護者負担でよい。
- ・拠点となる学校の負担がないように、クラブ運営の事務担当者は必要。また、練習時の保護者の協力も必要。

### (合唱)

- ・現在は南宮中学校の生徒のみだが、他校でも合唱をしたい生徒はいる。
- ・南宮中学校を拠点に、部活動から合唱クラブへ移行できればよい。指導者は一人ではなく複数にすれば、小学校の合唱クラブと一緒に運営できるかもしれない。地域の方が動いてほしい。
- ・「ソソラホール合唱団」「中野市ジュニアコーラス」等の市内の生徒が入れる環境がほしい。
- ・指導者がいるか。

### ③その他

- ・ソソラホールが中心となって募集する「ソソラホール吹奏楽団(合唱団)」のような小中学生対象のクラブができればいいなと思う。
- ・平日のクラブ活動がしっかりとできない場合は、在籍中学校での自主練習(場所と時間を保障いただく。勤務時間外は謝金対応で、先生にも見守り等の協力をいただきたい。)
- ・外部指導者へ、コンクール等の情報が入らないことがある。
- ・小学校の合唱団の活動はどうなるのか？

## (2) 卓球部グループ

### ①令和6年度卓球部の部員数(1~3年生 ※男女含む)の確認

・南宮 49人 ・中野平 32人 ・高社 30人 ・豊田 10人 (合計) 121人

### ②地域移行後の活動場所として適しているのはどこか

- ・高社中は二十数台の卓球台が常設されており、卓球をする環境は整っているが、トイレがない
- ・中野平は武道場に数台常設。トイレあり。
- ・南宮、豊田は適していない。

### (先生方の懸念事項)

- ・100名を超える人数を1カ所で行える場所がない。市民体育館は使えるか。  
→一部活動の地域移行後の活動場所としては、中学校体育施設を活用する。移行後の活動拠点としては、中野平が良いと思う。校舎と分離されており、トイレもある。また、卓球台のある武道場と体育館が前室を挟んで繋がっていることから、卓球台を体育館へ移動させて、武道場と体育館を同時利用することが可能であり、大人数でも対応できると思う(事務局)

③地域移行後の活動単位は学校単位とするのか、それとも1つにするのか

→特に決まっていない。(事務局)

- ・1つにまとめると、現在のルール上、団体戦は学校単位で1チームしか出場できない。そのため、地域移行が進んでいる他市町村では、活動拠点は1つでも、団体戦に出場するため学校区ごとに団体戦メンバーを編成して、出場しているところもある。1つにするメリットはあるも、生徒たちにとってはデメリットとなる場合があるので、競技者(生徒)に不利益にならない移行案を考えてほしい。

④中野市で中学校の卓球部員の面倒を見てくれる指導者やクラブチームを立ち上げる動きはあるのか。中野市体育協会卓球部に所属している方に在住者はいない。みな在勤者である。外部指導員の方は受け皿として体制を整えることは可能か。

→とてもじゃないけど体制は整えられない。指導はできても、今まで顧問の先生方がやってこられた施設や部員の世話事(怪我やトラブル対応)、各種手続きを引き受けることは自分自身到底できない。(外部指導者)

→指導以外の仕事が大変。受け皿の整備はそこがネックになると思う。プロや実業団などのノウハウがあるクラブチーム(市外)から指導者を呼んだ方が良いと思う。

→卓球の競技経験がある社会人は生涯現役選手が多く、指導より自分の技術向上に励む傾向があり、指導者に専念される方が少ないと思う。

## 2 地域移行の方向について(意見交換会のまとめとして)

○吹奏楽部⇒ 市内全域から募集するクラブを立ち上げる。

活動拠点は、中学校または中央公民館を候補として検討したい。運営主体は今後。

(具体的な方向案)

- ・令和7年度秋以降、合同練習会(休日)を実施。顧問が中心に、保護者等の応援で。
- ・令和8年度は、市内全域からクラブ員を募集する。夏までは部活動で対応し、秋以降はクラブとして、できるところから活動を開始する。
- ・令和7年度秋までに運営主体が決まるとよい。指導者・スタッフを募集していきたい。

○合唱部⇒ 市内全域から募集するクラブを立ち上げる。

活動拠点は、中学校または中央公民館を候補として検討したい。運営主体は今後。

(具体的な方向案)

- ・顧問と小学校の合唱団指導の先生、地域の団体の指導者とで会議をもち、運営主体やクラブについて検討していく。方向が固まったところで、指導者・スタッフを募集する。

○卓球部⇒ まずは保護者会に協力を依頼し、中学校を会場に活動できないか。

まとめ役(事務担当)が必要になるとしたら、公募も含めて検討していく。

(具体的な方向案)

- ・体協や地域で卓球に関わる方から話を伺い、事務担当者・指導者を募る。
- ・高社中で夜間に活動している体協の卓球部との連携についても協議していきたい。
- ・活動場所は、中野平中・高社中・南宮中の3会場あるとよいか。